



隣接2地点ペアのネットワークに基づく相対地盤増幅率の広域評価

ー 東北地方太平洋側の K-NET・KiK-net サイトへの適用 ー

池浦友則¹⁾、加藤研一²⁾

- 1) 正会員 鹿島技術研究所、博士 (工学)
e-mail : ikeura@kajima.com
- 2) 正会員 小堀鐸二研究所、博士 (工学)
e-mail : katokenichi@kobori-takken.co.jp

要 約

広域の地震動の距離減衰特性を検討する際に用いる相対地盤増幅率の評価法として、距離減衰関数を仮定しない新しい評価法を提案する。この方法では、隣接2地点で同時に観測された地震の記録で2地点間の平均相対地盤増幅率を求め、これを広域の隣接2地点ネットワークで連結して最小二乗法で解くことにより、遠隔地点間も含めた平均相対地盤増幅率が評価される。本研究ではこの方法を東北地方太平洋側のK-NET・KiK-net地点に適用した。得られた隣接2地点間の相対地盤増幅率は一次元波動論の理論伝達関数で解釈される。広域にわたる相対地盤増幅率については、地質条件との対応関係や既往のスペクトルインバージョン結果との対応関係を議論する。

キーワード： 地震、地震動、地盤増幅